

昭和二十二年六月十二日（第三種郵便物認可）
令和七年六月十日発行（毎月一回十日発行）
定価 五〇〇円

第1005号

高
知
書
道
会

高
知
書
道
会

高 知
龍 跳 書 道 會

秋季昇段・級試験課題発表

第八十一卷

7
月 号

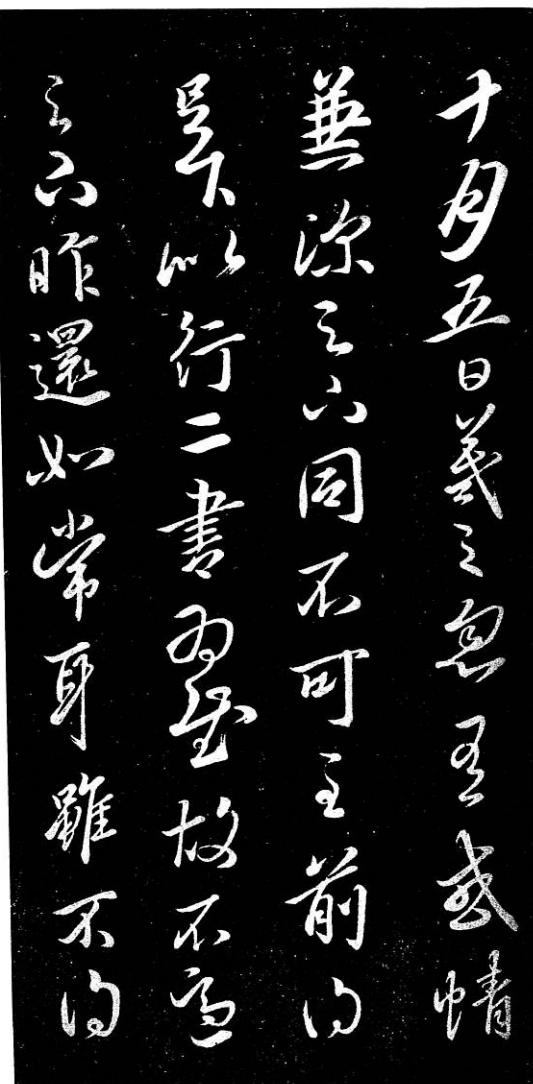
町田碧峰書 躍動



昭和59年 須崎中学校校訓碑

十月五日帖

王羲之



十月五日義之忽有感情 / 兼深足下同不可至前得 / 足下似二書為慰故不適 / 足下昨還如常耳雖不得
 じゅうがつごひが おしただまがんようか ふか あ そうからず いたべ さき そらか ぎょうに じょよえ
 十月五日 義之忽ち感情の兼ねて深き有り、足下同に至る可からず、前に足下の行に似たる二書を得たり、慰と為す
 も、故より適わず、足下 昨還り、常の如き耳ならん 旨間を得ずと雖も、遠く足下の書を得て、輒ち眞問するを
 慰と為す、吾れ頃ろ胸中悪しく、食するを欲せず、積日勿々たり、五日來り少しく差ゆ、七日 王羲之白す、

王羲之の生きたのは六朝時代である。

中国では、唐代以降、明代頃まで王羲之の字を集めて碑を造ることが盛んに行なわれた。尺牘とは書簡、手紙でもともと尺は長さの単位・牘は文字のことをしるす木の札である。

すなわち長さ一尺の木簡をいう。

廣末幽念書

巖下雲萬里。洞口桃千樹。

巖下雲萬里。洞口桃千樹。
幽念書

大原桂園臨

吾服食久猶爲劣々大都比之年時
大考以之多

吾服食久猶爲劣々大都比之年時

梅 川 桂 龍 書

出 門 愛 及 山 頻

福原曉雲書

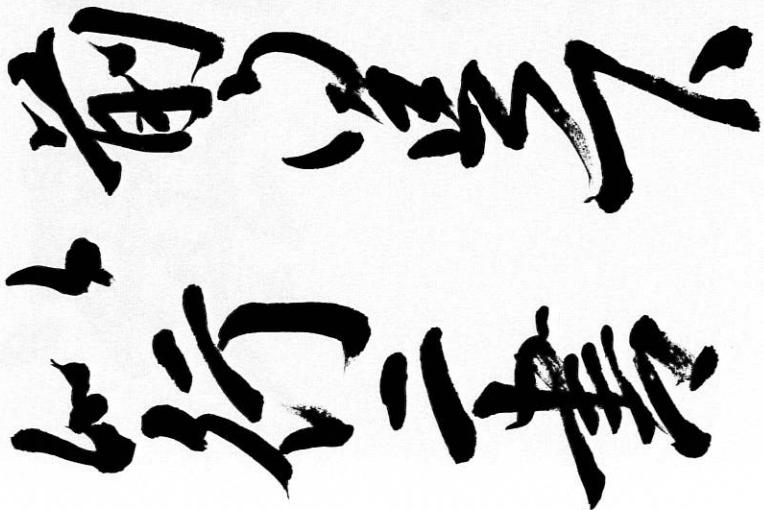
秋花微馨を呈す



福原曉雲臨

十月五日帖

前得足下似二書



条幅推薦

江西澄翠書

紙筆作心內可尋
紫英持以歸客館

深瀨綠堂臨

六度之江教主摩訶有之
途當於三藏之深林

岩河里華臨

墨下以行二書乃空妙不
得之以昨還如常有

浜崎洋堂書

間余何事棲碧山矣
而不得山中開

小学四年課題

弘 田 賀 峰 書



小学二年課題

大 原 桂 園 書



7月20日締切

7月20日締切

小学二年課題

水 田 紅 子 書

せん

7月20日締切

小学一年・ようち・ほいく課題

大八木 洋 女 書

うる

7月20日締切

クラスがえがあつた。休み時間といつしよに過ごす人、教室の移動に連れ立って行く人、何人の友達ができた。			
学校名	六 年	級段	氏名
寒いような気持ちになれる。			

「おくのはぞ道」は、松尾芭蕉が、旅を記した紀行文です。旅先で見聞きしたこと、心を動かされ、書きつづる気持ちは、今のわたしたちと同じだったのです。			
学校名	五 年	級段	氏名

学校名	まだ戦争のはげしかつたころのことです。食べるものといえは、お米の代わりに配給される、おいもや豆やかぼちやりませんでした。		
	四年	級段	氏名

学校名	づくりは、雪の上で回して楽しむ一までです。すくは、雪の上で回して遊ぶ一とがてきるようになります。		
	三年	級段	氏名

小学二年課題 小川理香 書

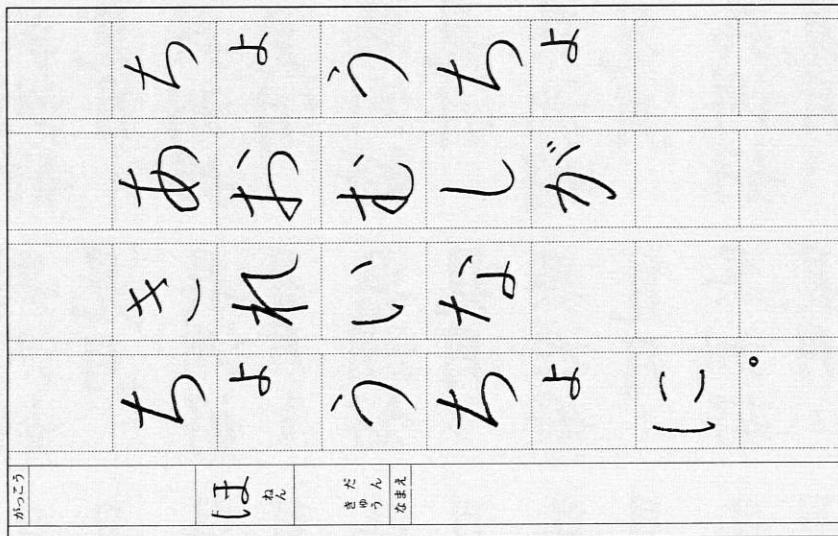
かづこう	風	の	ゆ	う	び	ん	や
	そ	ん	と	ん	な		
	ひ	つ	て	ん	な		
	つか	。					
	ど	ん	ほ	か	に	は	
	ん	な	人	い	つ	が	
	出	て	く	る	の	か	な
	一	ねん	だ	きゅう	なん	なまえ	

小学一年課題 藤田桂苑 書

かづこう	と	ん	わ	じ	か	
	する	な	う	し	さ	
	て	よ	。			
	し					
	よう					
	は、					
	あ					
	じ					
	が					
かづこう	一	ねん	だ	きゅう	なん	なまえ

7月20日締切

7月20日締切



6月22日(日)審査会終了後、鍊成会を行います。

(半折作の持参を歓迎します。)

☆鍊成会の課題題

雨餘高筍初迎夏、風逗殘花尚駐春

雨後、高くのびた竹の子は初夏を
迎える風情、風は散り残つた花に
吹き春を引きとめる風情。

多くの方の参加を望みます



(一・二段目) 福原曉雲 選評
賀峰君 || 溫かさと優しさあり、落款位置で左へ押印欲しい。

桂園君 || 温和な作で明るく落着いた。
恵花君 || 気力充実して迫力に富む。
清園君 || 運筆リズムに練達の書線が見える。

美喜君 || 落款位置までが作品です。
雅印を押印して下さい。この場合左位置が良いでしょ。

花梢君 || 長年の書歴が作品によく現われています。
(二・三段目) 岡崎綠水 選評
美桂君 || 溫和で安定感あり。少し墨量が入れば尚よい。

淳君 || 伸びやかで安定感を感じる。
佳月君 || 確かな筆使いと強い線がどちららしい。

心春君 || 線に温かみがあり魅力的。
紫秋君 || 気力充実し、紙面構成がよ

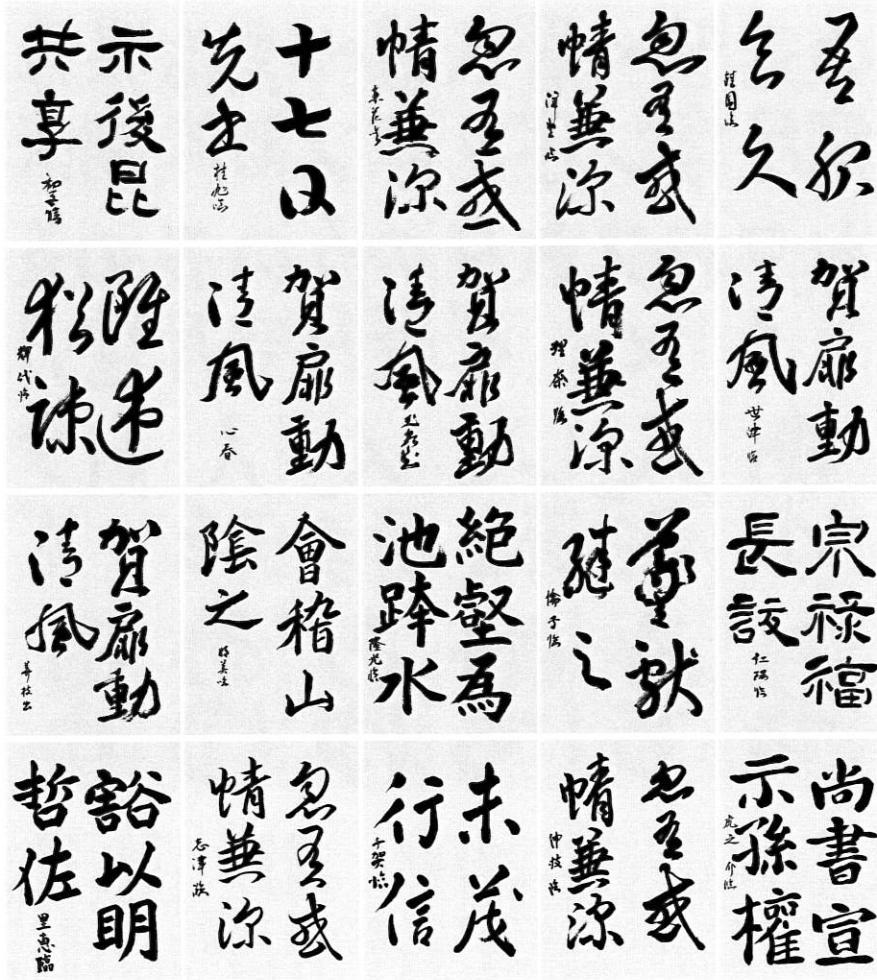
(三・四段目) 武内美仁 選評
美草君 || 丸みのある線質で余裕の作。
久遠君 || 澄みきつた線で好感がもてる。

美香君 || 筆が良く立ち、紙面構成も和美君 || バランス良く丁寧に書けている。

恵美君 || 粘り強く、筆圧も良く利いています。

明美君 || 字々のめりはりが効果的で上手い。

里恵君 || 堂々とした作。安定しています。
桂子君 || 字々明るく、力みなぎり良くまとめている。
衣里子君 || 用筆正しく将来が楽しみです。



(一・二段目)

梅川桂龍選評

桂園君||紙に食い込む線で圧巻の作。洋堂君||表情が明るく味わいあり。

惠花君||手馴れた筆致でよくまとめている。桂旭君||線の深さ、厚味、筆力共に兼ね備えた力作。

和子君||臨書を楽しんでいるようで、好感の作。

世津君||落ち着きのある線で雰囲気が良い。

(二・三段目) 野島桂山 選評

理奈君||堅実な書きぶりに好感がもてる。

玉泉君||切れ味よく明るい。

心春君||筆力よく安定している。

輝代君||線はよく伸びバランスも良い。

(三・四段目) 西山極山 選評

仁陽君||強い線で気迫を感じる。

隆光君||ていねいな書きぶりで温和な作品。

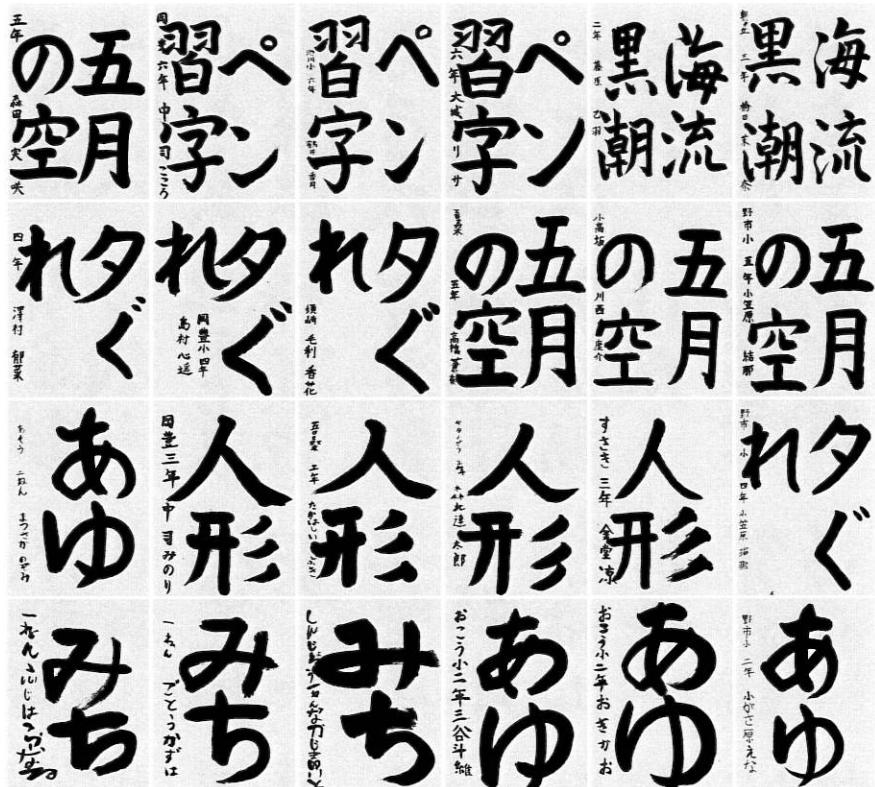
明美君||線がよく伸び安定している。

美枝君||字々しつかりしている。落虎之助君||宣示表の雰囲気をよくとらえていく。この調子で

伸枝君||小粒だが字々の形よい。

千賀君||筆圧がきき丸みのある線で

志津君||いつもながら手馴れた作品。志津君||一画一画ていねいに書いている。



(一段目) 中学部

茉奈君||明るい作品です。

乙羽君||流れ良くまとめてあります。

(二段目) 小学六年

リサ君||力強く書けて良い。

香月君||ゆったりと良く書けている。

こころ君||真面目に良く書けています。

(一・二段目) 小学五年

佐々木港花君||落ち着いて伸びくと書いています。

実咲君||すきがありません。よく書いています。

結那君||元気に書いています。

康介君||元気に書いています。

蒼來君||「の」を少し上に書いて下さい。すばらしいです。

(二・三段目) 小学四年

河村容舟 選評

香花君||美しく整っています。

心遥君||まとまりよく書けています。

郁菜君||形よくよい作品です。

瑠那君||まとまりよく書けています。

(三段目) 小学三年

選評

涼君||元気にのびのびと書けています。

連太郎君||まとまりよく書けています。

依吹君||ていねいに書けています。

みのり君||堂々と力強く書けています。

(三・四段目) 小学二年

選評

田村和子君||バランスよく明るく書けています。

のぞみ君||バランスよく明るく書けています。

えな君||ていねいにまとまっています。

かお君||元気に大らか。この調子で。

(四段目) 小学一年

選評

ゆいと君||大きげんきにかけています。

かずは君||ていねいでおちついたさくひんです。

なる君||のびのびとしつかりかけています。

選評

岡林邦心

選評

硬筆優秀作品

多ノ郷 大城 リサ
長岡 北村さくら子

浦ノ内 中平 澤里
須崎 田村 紗雪

すさき 金堂 凉
上分 吉村はるか

たんぽぽは、花と
じくをしづかに、
休ませてたねに、
たくさんのえいよ
うをおくります。
くれたか一 森おか べに
すみ田しゆう

新聞には、さまざまなものニュースが、ついています。新聞を読むと、社会で起きていることへの興味が広がります。読み方を身につけて、毎日もあなたであります。

新開には、さまざまなものニュースが、ついています。新聞を読むと、社会で起きていることへの興味が広がります。あなたは、あなた以外のすべてつながっているのです。

新開には、さまざまなものニュースが、ついています。新聞を読むと、社会で起きていることへの興味が広がります。あなたは、あなた以外のすべてつながっているのです。

新聞には、さまざまなものニュースが、ついています。新聞を読むと、社会で起きています。あなたは、あなた以外のすべてつながっているのです。

新聞には、さまざまなものニュースが、ついています。新聞を読むと、社会で起きています。あなたは、あなた以外のすべてつながっているのです。

新聞には、さまざまなものニュースが、ついています。新聞を読むと、社会で起きています。あなたは、あなた以外のすべてつながっているのです。

あなたは、今日はあなたであります。明日もあなたであります。あなたは、あなた以外のすべてつながっているのです。

あなたは、今日はあなたであります。明日もあなたであります。あなたは、あなた以外のすべてつながっているのです。

あなたは、今日はあなたであります。明日もあなたであります。あなたは、あなた以外のすべてつながっているのです。

あなたは、今日はあなたであります。明日もあなたであります。あなたは、あなた以外のすべてつながっているのです。

あなたは、今日はあなたであります。明日もあなたであります。あなたは、あなた以外のすべてつながっているのです。

あなたは、今日はあなたであります。明日もあなたであります。あなたは、あなた以外のすべてつながっているのです。

「これは、レモンのに乘せたお客様のしんしが話をかけました。いいえ、夏みかんですよ。」松井さんは答えました。

「これは、レモンのに乗せたお客様のしんしが話をかけました。いいえ、夏みかんですよ。」松井さんは答えました。

「これは、レモンのに乗せたお客様のしんしが話をかけました。いいえ、夏みかんですよ。」松井さんは答えました。

「これは、レモンのに乗せたお客様のしんしが話をかけました。いいえ、夏みかんですよ。」松井さんは答えました。

「これは、レモンのに乗せたお客様のしんしが話をかけました。いいえ、夏みかんですよ。」松井さんは答えました。

「これは、レモンのに乗せたお客様のしんしが話をかけました。いいえ、夏みかんですよ。」松井さんは答えました。

「これは、レモンのに乗せたお客様のしんしが話をかけました。いいえ、夏みかんですよ。」松井さんは答えました。

「これは、レモンのに乗せたお客様のしんしが話をかけました。いいえ、夏みかんですよ。」松井さんは答えました。

「これは、レモンのに乗せたお客様のしんしが話をかけました。いいえ、夏みかんですよ。」松井さんは答えました。

新聞には、さまざまなものニュースが、ついています。新聞を読むと、社会で起きています。あなたは、あなた以外のすべてつながっているのです。

新聞には、さまざまなものニュースが、ついています。新聞を読むと、社会で起きています。あなたは、あなた以外のすべてつながっているのです。

新聞には、さまざまなものニュースが、ついています。新聞を読むと、社会で起きています。あなたは、あなた以外のすべてつながっているのです。

「これは、レモンのに乗せたお客様のしんしが話をかけました。いいえ、夏みかんですよ。」松井さんは答えました。

「これは、レモンのに乗せたお客様のしんしが話をかけました。いいえ、夏みかんですよ。」松井さんは答えました。

「これは、レモンのに乗せたお客様のしんしが話をかけました。いいえ、夏みかんですよ。」松井さんは答えました。

「これは、レモンのに乗せたお客様のしんしが話をかけました。いいえ、夏みかんですよ。」松井さんは答えました。

「これは、レモンのに乗せたお客様のしんしが話をかけました。いいえ、夏みかんですよ。」松井さんは答えました。

「これは、レモンのに乗せたお客様のしんしが話をかけました。いいえ、夏みかんですよ。」松井さんは答えました。

「これは、レモンのに乗せたお客様のしんしが話をかけました。いいえ、夏みかんですよ。」松井さんは答えました。

「これは、レモンのに乗せたお客様のしんしが話をかけました。いいえ、夏みかんですよ。」松井さんは答えました。

「これは、レモンのに乗せたお客様のしんしが話をかけました。いいえ、夏みかんですよ。」松井さんは答えました。

あさこのおひさまうみからおきだした
あさこのおひさまうみからおきだした
あさこのおひさまうみからおきだした

あさこのおひさまうみからおきだした
あさこのおひさまうみからおきだした
あさこのおひさまうみからおきだした

あさこのおひさまうみからおきだした
あさこのおひさまうみからおきだした
あさこのおひさまうみからおきだした

たんぽぽは、花とじくをしづかに、休ませてたねに、たくさんのえいよ
うをおくります。
たんぽぽは、花とじくをしづかに、休ませてたねに、たくさんのえいよ
うをおくります。
たんぽぽは、花とじくをしづかに、休ませてたねに、たくさんのえいよ
うをおくります。

長岡 野市 森田 小笠原結那

浦ノ内 多ノ郷 太田 海音希

浦ノ内 小がさ原えな

すさき うらのうち 金どう
とくながあやと

第966回 競書成績

○印規定・随意共通昇級

条幅

審查
前田
秀華

(※印写真版)

★天位

★
推薦

※岡林邦心淳
※中平美峰
※西山極山
※野中恵花
津野恵泉
藤原朱鳳
田村和子
明石美桂
河村容舟
伊吹悠道
水田紅子
岩崎竹山
弘田賀峰

★地位

※ 小笠原廣峰
※ 佐竹江月
※ 高橋美草
岡林翠
市川美香
大崎紫陽
橋本祝子
濱田幸子
川崎志津
岩谷紅花
吉永光翠
濱田順子
横田紫秋

藤田美知子 氏原美泉 池山本芳春 池山本恵歩 池山本世津
丸岩横鈴大岡北村桂旭 田村桂旭 田村桂旭

山須旭香南須佐久山佐須久野旭旭須越東
田崎筆北国崎川礼田川崎礼市筆筆南知洋

審查規定期

※大平圭子
坂本碧香

旭山山越旭山仁須山吾窪大仁仁須山須久高越上須高高鷹吾久高安旭南吾佐吾
筆田田知筆田淀南田桑川野淀淀南田崎礼知知加南知知ノ桑礼知芸筆筆国桑川桑
川 見川川 巢

堅田清園
大崎花梢
池川千晶
大野美晶
別役美佐
桑原智子
北村桂旭
松本明子
岩崎竹山
大平圭子
田中恵風
氏原美泉
松本世津
丸田芳春
坂本碧香
山村恵歩
大石千施
佐竹江月
田村眉州
大鎌倉春葉
高崎紫翠
西高橋
藤原仁桜
吉田光
内田芳
朱原春
百和子
山村田
岡田雄
山田深
子吉田
本田惠
祝子

仁須久仁東南東須仁多
淀崎礼淀洋國洋淀川
川川川川

西岡仁陽 中澤英子 濱田伸子 横橋星舞 杉本美邦
濱田順子 高橋翠園 西森啓助
市川美香 高橋美草 坪内倫子 横山真理子
後藤和美 品原律子 隆光遠 佐藤洋子
和田恵美 川口虎之介 久遠 岩田千鶴子
西尾明美 前田伸枝 林 岩田千鶴子
山本勝子 鶴井未来 市川美香
木戸恵美子 房原勝子 高橋翠園
城尾松坂 美枝 未未子 隆光遠
水勝 惠 彩虹 横山真理子

低学年の生徒名も5字迄に。出来るだけ漢字を使用して下さい。

隨意

審査 梅川 桂龍

★師範

岡松高	池西坂	松田北	河戸弘	矢西岩江	野浜大	中原洋	桂園
田浦橋	内本本	本村和桂	奥岡林	田野山西	中崎極	原桂	
雄明桜	芳仁碧	世和桂	瀬林堂	山河里	澤惠澄	洋桂	
山子芳	春子香	津子旭	紅羽邦	峰心	峰臣山	翠花	

★準師範

小笠原	中平廣	平美峰	堂邦	心孝	容賀峰	臣山	華翠花	園
田紅	峰	峰	心	北	舟峰	臣山	華翠花	
子花	峰	峰	心	北	峰	臣山	翠花	
山子芳	峰	峰	心	北	峰	臣山	花	
心春	峰	峰	心	北	峰	臣山	園	

★五段

山本心	大伊吹	岩谷悠	浪上	理紅	玉朱	森智	望美	朱
春	井	谷	上	花	玉	宏	竹	美
						智	碧	深
						慧	碧	美
						子	碧	賀
						陽	喜	鳥
						子	子	

★六段

小	横	丸	大	桑	森	岩	大	氏
笠原	田嶺	田嶺	崎	原	崎	崎	平	吉
原	役	役	田	原	田	田	村	原
平	田	田	崎	原	崎	崎	原	原
廣	中	中	大	桑	桑	原	平	原
峰	山	山	崎	原	原	崎	圭	原
堂	本	本	崎	原	原	崎	芳	原
邦	中	中	田	原	原	崎	美	深
心	原	原	田	原	原	崎	美	美
	原	原	田	原	原	崎	賀	朱
	原	原	田	原	原	崎	子	美
	原	原	田	原	原	崎	子	賀
	原	原	田	原	原	崎	喜	鳥
	原	原	田	原	原	崎	子	

★初段

大和藤	掛水	原原	日本市	川前田	伸前田	虎之介	房美香	房美香
原	原	原	原	山	山	山	子	子
原	原	原	原	川	川	川	勝	勝
勝	勝	勝	勝	松	松	松	恵	恵
美	美	美	美	坂	坂	坂	子	子
子	子	子	子	美	美	美	房	房
美	美	美	美	枝	枝	枝	房	房
子	子	子	子	西尾	西尾	西尾	美	美
				明	明	明		
				美	美	美		
				美	美	美		
				西	西	西		
				尾	尾	尾		
				明	明	明		
				美	美	美		

★二段

川	林	坪	西	西	西	西	西	西
下	隆光	内倫子	山	山	山	山	山	山
久			田	田	田	田	田	田
遠			原	原	原	原	原	原

★三段

中澤英	順子	濱田順	藤田	山岡	尾立	鈴木輝代	濱田幸子	濱田美水
英	子	子	川	斗	千	輝代	幸子	美水
澤	順	順	崎	子	賀	代	子	
英	子	子	志	子	賀	代	子	
子	子	子	津	子	賀	代	子	
子	子	子	斗	子	賀	代	子	
子	子	子	子	子	賀	代	子	

★四段

○○太富	山里	○○太富	山里	○○太富	山里	○○太富	山里	○○太富
富	里	富	里	富	里	富	里	富
山	有	山	有	山	有	山	有	山
里	紀	里	紀	里	紀	里	紀	里
有	紀	有	紀	有	紀	有	紀	有
紀		紀		紀		紀		紀

★一級

藤田	山岡	尾立	鈴木輝代	濱田幸子	濱田美水	濱田幸子	濱田美水	濱田幸子
川	斗	千	輝代	幸子	美水	幸子	美水	幸子
崎	子	賀	代	子	代	子	代	子
志	子	賀	代	子	代	子	代	子
津	子	賀	代	子	代	子	代	子
斗	子	賀	代	子	代	子	代	子
子	子	賀	代	子	代	子	代	子

第900回毛筆成績

○印は昇級

中学部

★七段

岡豊
島村偉空

★六段

長岡北
村さくら子

★初段

高知
三本晴士

★四級

高知
三本晴士

★三段

仁淀
藤原さくら

★四段

高知
三本晴士

★三段

朝ヶ丘
橋田茉奈

★三段

一年
藤原乙羽

★九段

池川
安井風葵

★九段

鳴ヶ池
藤原乙羽

★九段

新莊
鍋島綜

★特待生

新莊
鍋島綜

★九段

朝比奈
高芝仁貴

★九段

上分
宮脇改太

★八段

須崎
長岡

★三段

毛筆六年
鶴井香月

★九段

審査
岡林邦心

★九段

多ノ郷
大城りサ

★九段

審査
岡林邦心

★九段

別府
後藤樹

★九段

長岡
森田実咲

★九段

野市
小笠原結那

★八段

毛筆五年
梅原百叶

★七段

小高坂
川西康介

★★出品票は黒枠をきちんと切つて下さい。
臨書は出典名を記入のこと。

★六段

吾桑 高橋倉來
吾桑 松坂美緒音
佐古 田村健悟
須崎 金堂莉李

★四段

吾桑 吉門蒼馬
吾桑 長岡

★三段

吾桑 宮崎穂花
吾桑 西内明利
長岡 長岡

★二段

吾桑 多ノ郷森光梨衣奈
吾桑 長山優奈
長岡 長岡

★一段

越知 藤崎華乃
越知 長山優奈
長岡 長岡

★初段

野市 澤村郁菜
野市 小笠原瑞那
長岡 長岡上分 赤崎南美
上分 中山結愛
審査 河村 容舟

★七段

須崎 夜須
須崎 ○○白石一華莉
須崎 河村 容舟

★六段

別府 ○藤原すみれ
正木芳尚
田村紗雪

★八級

夜須 ○○白石一華莉
野市 小笠原瑞那
長岡 長岡

★新規

越知 九級に編入
宮脇芽生
藤原汐零生須崎 朝倉
中司みのり
島田昇冴
根口心花岡豊
新莊
多ノ郷
橋田かほ

★二段

ベふ
ふじはらみづき別府
片岡脩平
岡豊
三谷斗維

★八級

池川
八級編入
藤原成琉

★新規

池川 ○大西悠心
藤原成琉

★九段

須崎 上分
松田菜乃
小松希美

★八段

長岡 北村さくら子
久礼 增田茉優
浦ノ内 松山 森岡 虹翔

★七段

須崎 上分
島村梓空
須賀勇介
柳本稀衣
上加江 岩田愛菜

★六段

浦ノ内 別府 後藤 樹

★五段

岡豊 中司こころ
島村梓空

★四段

浦ノ内 別府 後藤 樹

★三段

浦ノ内 中田瑚音

上分 梅原未來
上分 梅原未來
★五段高橋倉來
松坂美緒音
田村健悟
金堂莉李

★四段

島村心遥
多ノ郷 太田朋希
竹内伽菜心

★三段

岡豊 島村心遥
多ノ郷 太田朋希
竹内伽菜心

★二段

岡豊 島村心遥
多ノ郷 太田朋希
竹内伽菜心

★一段

岡豊 島村心遥
多ノ郷 太田朋希
竹内伽菜心

★初段

岡豊 島村心遥
多ノ郷 太田朋希
竹内伽菜心

★三級

岡豊 島村心遥
多ノ郷 太田朋希
竹内伽菜心

★六段

須崎 浦ノ内
須崎 西村太希
須崎 容舟

★新規

池川 越知
片岡美桜

毛筆三年

審査 河村 容舟

★五段

須崎 金堂涼

★四段

須崎 金堂涼

★三段

須崎 金堂涼

★二段

須崎 金堂涼

★一段

須崎 金堂涼

★初段

須崎 金堂涼

審査 河村 容舟

もうひとつ一年

審査 田村 和子

吾桑 松坂望未

野市 小笠原恵那

★初段

須崎 野市

★二段

須崎 野市

★三段

須崎 野市

★四段

須崎 野市

★五段

須崎 野市

★六段

須崎 野市

★七段

須崎 野市

もうひとつ一年

審査 門田 恵子

新莊 中島ゆいと

★二段

須崎 新莊

★一段

須崎 新莊

★特待生

須崎 新莊

★十級

須崎 新莊

★九段

須崎 新莊

★八級

須崎 新莊

★七級

須崎 新莊

第699回硬筆成績

○印は昇級

硬筆六年

★七段

浦ノ内 森田 萬

越知 片岡杏璃

浦ノ内 山本彩喜

★六段

浦ノ内 田村拓海

須崎 浦ノ内

須崎 浦ノ内

潮見 島村梓空

岡豊 中司こころ

別府 後藤 樹

浦ノ内 中田瑚音

(出品票)

出品票の名前は楷書ではっきり書いて下さい。

のり代

7年
7月
規定

地名

氏名

段

級

のり代

7年
7月
隨意

臨は出典名

氏名

段

級

越知須礼久夜桑	須崎古寺佐藤薦米澤松坂美音	津野聖佳	長岡夜須市	審査江西	吾桑	吾桑	藤沢高橋	吾桑高橋芽生奈	藤沢駒嶋信慈	吾桑久礼	★★二段
上分○赤崎南美	奈路	上久礼	池川越知	吾桑	長岡	吾桑	久礼	浦ノ内	中平澤里	★★五段	
長岡多ノ郷	須崎多ノ郷	須南課題	浦ノ内	浦ノ内	須崎	須崎	浦ノ内	審査野中	別府九級編入	★★新規	
越知長岡	多ノ郷岡豊	須南課題	浦ノ内	浦ノ内	須崎	須崎	浦ノ内	審査野中	片岡龍威	★★新規	
久礼○細木龍生	別府○藤原すみれ	八級	越知○寺岡織	七級	長岡浦ノ内	長岡浦ノ内	久礼夜須	長岡池川	上ノ内加江片山陽莉	★★三段	
長岡久礼	池川川岡豊	二段	上加茂	上新莊	浦ノ内	浦ノ内	多ノ郷吉村はるか	審査野中	上分内加江片山陽莉	★★三段	
中安井み	北村心安	有心暖	はし田一か	はし田一か	中島あやと	中島あやと	多ノ郷根口心花	須崎金堂	吉村はるか	★★新規	

筆・硯・墨・古法帖・墨液・画仙紙
書道用具萬般乞来店

(株) 818 齋 齋

高知市南宝永町14-18
TEL (代) (882) 1394番
夜間・TEL (882) 1392番

越知 九級編入 宮脇芽生		★新規 長岡 ○大塚もも	★六級 高おか すみ田しゅ 井上めい う	城東 吾桑 大谷北 ○○○○ 長岡 久礼 ○○○○ 吾桑 ○○○○ 堅田 彩乃 加茂海 弥美 村上 こゆ	上加 大内柚乃	★三級 久礼 豊加 吾桑 小林 鈴木 奈穂花	★★一級 久礼 奈路 植野 岩瀬 島村 昇汎 政岡倉 史	長岡 金堂 こうすけ 久礼 路 植野 岩瀬 島村 昇汎 政岡倉 史	下谷琴春 片岡紗雪 伊藤日向 春
佐川 高おか すみ田しゅ 井上めい う		★一級 久礼 浦ノ内 森岡 寺内か 音紅	★★初段 久礼 浦ノ内 江頭 宮田 い音航 別府 ○片岡脩平	浦ノ内 附属 多ノ郷 坂本美咲 別府 ○片岡脩平	★★二段 久礼 浦ノ内 中平湧大 江頭 宮田 い音航 別府 ○片岡脩平	吾桑 松坂望未 多ノ郷 坂本美咲 別府 ○片岡脩平	審査 市原 處艸 吾桑 松坂望未 多ノ郷 坂本美咲 別府 ○片岡脩平	審査 市原 處艸 吾桑 松坂望未 多ノ郷 坂本美咲 別府 ○片岡脩平	池川 十級編入 藤原汐 佐竹真到 零
池川 久礼 浦ノ内 毛利いろは 藤原成琉		★★十級 久礼細木しようき	★★九級 ふじはらみずき べふ	別府 ○片岡脩平	★★八級 久礼 浦ノ内 ○○○○ 須崎 浦ノ内 ○とくな があやと	岡豊 ○三谷斗維 別府 ○片岡脩平	★★七級 岡豊 ○三谷斗維 別府 ○片岡脩平	岡豊 荻 かお 岡豊 荻 かお	野市 ○小笠原恵那 久礼 奈路かなえ 審査 深瀬 緑堂
池川 久礼 久礼 毛利いろは 藤原成琉		★★新規 久礼 十級編入 小林じゅんな	★★新規 久礼 九級編入 小林じゅんな	池川 久礼 ○○○○ 須崎 浦ノ内 ○とくな があやと	★★十級 久礼 浦ノ内 ○とくな があやと 須崎 浦ノ内 ○とくな があやと	新莊 なかじまゆいと 新莊 なかじまゆいと 須崎 金堂こな 後藤和葉	新莊 なかじまゆいと 新莊 なかじまゆいと 須崎 金堂こな 後藤和葉	新莊 なかじまゆいと 新莊 なかじまゆいと 須崎 金堂こな 後藤和葉	こうひつ一年 こうひつ一年 審査 深瀬 緑堂
									こうひつ・ようち・ほいく おひさま ○もりみつるな 審査 深瀬 緑堂



のり代
7年 7月 毛筆
校 名
保 学 年
氏 名
段
級

無 褒 特 記念大賞
鑑 檢 狀 選

野 野 小 江 前 岡 石 大 堀
中 島 川 西 田 崎 川 崎 内
恵 桂 理 澄 秀 緑 美 花 仁
花 山 香 翠 華 水 水 梢 峰

第70回須崎市総合美術展覧会

お知らせ

のり代
7年 7月 硬筆
校 名
氏 名
段
級

入 優秀賞
選

中 岩 水 廣 大 堀 西 福
平 谷 田 末 石 内 山 原
美 紅 紅 幽 千 仁 極 曜
峰 花 子 念 施 峰 山 雲

第43回安芸全国書展

秋季昇段級試験作品募集

▽ 師範の部

(受験資格・本会準師範位に限る)

○ 課題

大漠沙如雪 燕山月似鉤
何當金絡脳 快走踏清秋

大漠沙如雪の如く／燕山月鉤に似たり／何か当に絡脳を金にして
快走 清秋に踏む

- 右の詩句を小画仙半折に隸、楷、行草体の三枚と一ページ十月五日帖より、十二文字以上を節臨して計四点出品のこと。
- 作品は無落款とし、作品毎に裏面左下にエンピツで姓号を明記すること。
- 当選者は本会師範に推挙する。

▽ 第一部

(受験資格 一般部段位、級位の者)

○ 課題

秋風南陌無車馬 獨上高樓故國情

秋風 南陌 車馬無し／獨り高樓に上る 故国情

- 右の詩句を小画仙半折に楷行草体の二枚と一ページ十月五日帖より、十二文字以上を節臨して計三点出品のこと。
- 作品は無落款とし、作品毎に裏面左下にエンピツで現段級と姓号を明記すること。
- 当選者は準師範以下相当段位に認定編入する。

▽ 第二部

(受験資格 一般部級位の者)

○ 課題

秋雲靜晚天

秋雲 晚天に静かなり

▽ 学生・学童の部 (毛筆部)

課題字句「龍跳」七月号掲載(七月二十日締切)の課題字句とします。

- 規格は半紙。一人一点とします。
- 書体は自由です。

- 作品の裏にエンピツで学年と段級位・氏名を書くこと。(段位は漢数字、級位はアラビア数字で) 作品の表には絶対に書いてはいけません。

○ 出品料 五百円

▽ 硬筆作品

課題の文字は龍跳七月号(七月二十日締切)の課題字句とします。

- それぞれの学年に応じた硬筆用紙に規定の字句、学年段級位、氏名を正しく書いて出品してください。
- 段位は漢数字、級位はアラビア数字でハッキリ記入のこと。
- 出品料 五百円

※ 出品作及び受験料を審査当日、会場に持ち込む場合は、
八時三十分から九時迄の受付です。

△ 作品の締切

令和七年九月四日(木)必着のこと。

△ 審査日時

令和七年九月七日(日)午前九時三十分より

△ 審査場所

高知城ホール

〒193-10081 南国市片山四九〇 西山極山苑

- 上記を楷、行、草の三体を半紙三枚出品のこと。
- 作品を楷行、草の順に縦に貼つぎすること。
- 作品は無落款とし、作品裏面左下にエンピツで現段級と氏名を明記すること。

△ 出品料

師範部・八千円 / 第一部・六千円 / 第二部・四千円

(作品と同時に納入してください)

第一、二部参考手本は本会役員は書かない。

第一、二部参考手本を希望される人は本会役員に直接申込んで下さい。潤筆料は条幅三点につき一万五千円、半紙三点につき五千円。

△ 第一部 (毛筆部)

第68回 龍跳書道展出品票

◎楷書で丁寧にご記入下さい。

キリートリ

件 文		題名	大きさ	住所	氏名	
(押pin)					(番地まで記入のこと)	〒 -
		(半折・全紙横・連落等の書き方も可)	たて ・よ)	電話	雅号	
		(左のいずれかを○でかこむ)	()	ふりがな		
		懇親会	形式	当番希望日 ○で囲んで下さい。		
		未定	額・枠・軸・屏風	日の ・午前9時～午後1時 ・午後1時～5時 (最終日3時迄)		
(姓号)				※連絡のない限り希望日の当番をお願いします。		
()						

※作品横(又は下)に添付します。丁寧に書いて下さい。

※出品票は六月二十一日(日)審査日迄に必ず提出して下さい。

連絡・問い合わせ・送り先等

新規入会申込と会費の送金先

「龍跳誌」冊数変更の通知先

〒781-1501 吾川郡仁淀川町大崎一三三三一

隅田亘心

龍跳書道会

振替口座番号
01690-3-31925
電話(0八八九)二五一〇九七一一番

月例作品の送り先

〒783-0081 南国市片山四九〇

西山極山

電話(0八八)八六五一八八五七番

「龍跳誌」の内容について

〒781-7412 安芸郡東洋町河内三〇四

福原暁雲

電話(0八八七)二九一二六五〇番

・編集についての連絡先

〒785-0010 須崎市鍛冶町六一八

江西澄翠

電話(0八八九)四二一一三〇六七番

・送本についての連絡先

(冊数の相違等については当方へ)連絡下さい。)

〒785-0055 須崎市大谷一〇四

野中恵花

電話(0八八九)四七一〇七一一番

あとがき

一年中で一番すゞしやすく、桜の美しい季節もあつと
言う間に過ぎ、四月五月の審査会の後、第68回龍跳展の下
見会が行われました。
熱心に参加されたみな様、それぞれいい作品作りに取
り組んでいる事に私も刺激を受け、うれしく思っています。
と同時に会員減少のため、出品作品の減少を心配してい
ます。

毎月の稽古で実力を伸ばす事も、もちろん大切ですが、
年に一度の龍跳展に参加して、いろんな方に見ていただ
く事で作品の良い所、悪い所に気が付き、自信に繋がるの
ではと思っています。

今年の参加は無理でも、ぜひ次回の参加を、また新人の方の初出品も楽しみにしています。
最後に第68回龍跳展の成功を願っています。

— 美仁 —

月例競書課題

保育	"	"	"	"	"	小学六年	"	"	中学三年	半紙随意	半紙規定	一般条幅	部別 締切日
	一年	二年	三年	四年	五年	富士登山	不言実行	家庭学習	愛山頻出門	任意	任意	七月二十日締切	
う	せ	花	広い	松風の音	富士登山	不言実行	家庭学習	愛山頻出門	任意	任意	任意	八月二十日締切	
り	み	火	海	北斗星	水車小屋	高校野球	海水浴場	競泳大会	投杖倚松根	任意	任意	八月二十日締切	
な	ぼ	月	北斗星	水車小屋	高校野球	海水浴場	競泳大会	投杖倚松根	任意	任意	任意	八月二十日締切	
つ	ん	光											

会費の送金について

会費：半年分 3,000円／1年分 6,000円

1ヶ月の龍跳誌郵送料 (R6.10～)
(幸便搬送の方は元料不要)

Ⓐ	1冊	180円
Ⓑ	2冊～7冊	210円
Ⓒ	8冊～20冊	430円

21冊以上は次の計算による。

21冊	Ⓐ+Ⓑ=610円×月数
22冊～27冊	Ⓐ+Ⓑ=640円×月数
28冊～40冊	Ⓒ×2=860円×月数
50冊の場合	Ⓒ×3=1,290円×月数

◎会費と龍跳誌元料は原則として半年分または1年分前納のこと。

◎送金は次の何れかへ
 ①元料 〒781-1501 吾川郡仁淀川町大崎133-1 隅田亘心
 ②振替口座番号 01690-3-31925 龍跳書道会
 (お問い合わせ) ☎ 0889-35-0971

○月号(○冊)より○月号まで○ヶ月分
誌代 ○円 / 元料 ○円

と記入のこと。

印刷所	発行所	発行人	編集室
須崎市東古市町二一一六 電話(0889)四二一〇一四四 (有)笠岡印刷所	龍跳書道会 電話(0889)二九一二六五〇	福原暁雲(本部) 安芸郡東洋町河内三〇四 電話(0889)二九一二六五〇	江野島桂福原暁雲 中平美峰江西澄翠